

2019/07/21 日曜日

# デモに行ってきた。

思えばこの日は朝から波乱の予感が漂っていました。今や唯一の民主派寄り新聞となってしまった蘋果日報。一面にデモ参加を呼びかけるイラストと記事が躍ります。

絵は地元のイラストレーター・HELLO WONG によるもの。書展ページでも紹介の点子出版からイラストエッセイ「爆炸頭の世界」も出している人気者です。地元の有名漫画家たちはほぼこぞって反送中支持。絵には習近平の暗喩・くまのプーさんもひそかにまぎれ込んでいます。それはともかく…



本日のデモ、本来のルートは天后・維園(ヴィクトリアパーク)から中環(セントラル)まで。警察本部のある灣仔(ワンチャイ)北西地区、立法会大樓の金鐘(アドミラルティ)を抜け、終審法院(最高裁判所にあたる)や金融の中枢が集中する中環まで申請していましたが許可が下りず、これら重要施設の手前・灣仔が終点となりました。ところが蘋果日報1面にデカデカと載せられた「読者の声」には、「デモが終わったら金鐘でお茶したいね!」「金鐘でショッピングを楽しみたいなあ」etc…。公然と「正規ルート突破して金鐘までデモろうぜ」と煽っているのです。あちゃー。今日も嵐の予感がします。ま、ともかく行ってみますか。



## といいつつ筆者は大遅刻(苦笑)

15:00 維園集合・15:30 行進開始なのに、天后駅にたどりついたのは夕暮れ18時すぎ。仕方ないじゃないですか、筆者の本業は本の買付。当日も朝から書展、その後は九龍サイドでアポイントや仕入をこなしてから駆けつけたのです。しかもド僻地でな！本当なら仕入地・紅磡から香港島サイドまで直通バスがあるのですが、デモ地の銅鑼灣～灣仔をおもいっきり通る路線。そりゃ動いてるわけないですね。森閑とした No.104 バス停を横目に、遠い地下鉄駅まで歩いていたら遅くなっちゃいました。



当然、天后駅から維園まで人影はまばら。デモ隊はとっくに出発後でした。

維園は年越しイベントや春節前の花市、野外見本市から天安門追悼集会まで、大規模イベントといえどココ！という代名詞的公園。人影消えたグラウンドで、それでも主催団体がまだ集会をしているようでアジ演説の声が響きます。しかしとにかくデモ隊の尻尾を追いかけなくっちゃ！早々に公園敷地を後にし、デモルートの道路に出ます。



デモルートはトラムの線路に沿って西へ進みます。自動車道のまんなか敷かれたトラム線路。トラムはこのためにはほぼ全面運休です。(当日、北角地区から東へ行く路線だけは少し動いていた。)

道路には英国国旗を力強く振る白髪の女性が。あっ！これが「ユニオンジャックおばちゃん」。6月以来、デモ現場に必ず現れて旗を振るので地元ではすでに有名人となっています。ほんものだ〜。しかしこのおばちゃん、3時半の出発からずっと旗降ってるの！？いま6時半前だよ！すごい体力です。見たところ筆者より20年ほど歳を重ねていそうなのに。ところでなぜ旧宗主国の旗を…とお思いでしょうが、それは解説が長くなるのでここでは割愛。



信号機や停留所など、通り沿いのありとあらゆる立体物に付箋が貼られています。デモの日はルート全体がレノンウォールと化するわけですね。

隊列が通り過ぎても、道路は 23:59 まで借用許可済。人影まばらになった自動車道路のど真ん中に立つのは何ともいえない爽快感があります。ときどき主催団体の方とおぼしき「救護站」のボードを掲げて救急箱片手に立つ若者がいます。すでに手持ち無沙汰そうにしています。って爽快感に浸ってる場合ではありません。デモの尻尾はどこだー！！早速で道路を西へ西へ進みます。



ほぼひと駅分歩いた、銅鑼湾・怡和街の円形歩道橋下。やっと人波の背中が見えてきました。

おお。たしかにほぼみんな、黒いTシャツ姿です。時は夕暮れ。地上の人々があまりにみな黒いので、地面から先に夜になっていく感じです。

繁華街・銅鑼湾の中心、そごう前交差点までたどりつきます。通りの名前が軒尼詩道（ヘネシーロード）にかわり、ふだんは人もクルマもすし詰めで行き交う道ですが今日は全面車両通行止です。

進むにつれてどんどん人が増え、歩みもゆっくりになっていきます。参加者はもちろん若者が多いですが、おじさんもけっこういます。どこにでもいる、ごくふつうのおじさんです。

みなさん、わりと「素」の表情で、怒るでもなく高揚するでもなく淡々と歩いています。本当に、ふだん道路で行き合う地元人と何ら表情が変わりません。買い物中にスッと集まってきてスッとデモ隊列に同調している感じです。たまに「ウェーイ」とか騒ぎながらスマホで写真撮る若者集団もいますが（どこの国にもパリピはいるものです…）総じて静かです。

ときどき「香港！」「加油！」（香港がんばれ）、「没有暴徒！」「只有暴政！」（暴徒などいない、あるのは暴政だけだ）というシュプレヒコールが起こりますが、あまり長続きせず、また静かな行進に戻ります。カネやタイコといった鳴り物もありません。

